

Q.3

糖尿病性腎症について 教えてください

生命にも危険が及ぶのでしょうか？



A すぐに生命に危険は及ばないが 血液透析を受ける人が増加中

かねとう腎泌尿器科クリニック院長 金藤博行 先生

私は3年前から糖尿病を患っています。食事療法を中心とした治療を実施していますが、なかなか改善が見られないのが現状です。先日、同じ病気を持つ同僚が合併症の1つである糖尿病性腎症を患ったと聞きました。これは、どのような合併症なのでしょうか？また、生命にも危険が及ぶのでしょうか？
(51歳/男性)

糖尿病で高血糖が続くと、全身のあらゆる臓器にさまざまな障害が起き網膜症や腎症、神経障害、脳梗塞、心筋梗塞などの重大な合併症を引き起こします。ご質問の糖尿病性腎症は、腎臓の細小血管の異常によって糸球体の障害が起き、進行すると老廃物の除去機能が悪化して腎不全となる合併症です。わが国では、**糖尿病性腎症が原因で血液透析を導入する患者が1998年に年間1万人を超え、その後も年々増加しています。**

この合併症は病状の進展によって、第1期（腎症前期・潜伏期）、第2期（早期腎症・微量アルブミン尿出現）、第3期（顕性腎症・たんばく尿出現・腎機能悪化）、第4期（腎不全期）、第5期（透析療法期）に分類されます。たんば

く尿が明らかになるとすでに第3期の状態で、一旦腎障害が進むと元に戻らなくなりますので、定期的に尿中微量アルブミン測定を行い早期に腎症を発見して対応する必要があります。

予防するには血糖の厳重なコントロールが最も重要で、生活習慣の改善、食事・運動療法、禁煙を守ってください。血糖のコントロール不良の状態が10年以上続くと腎障害が起これと言われていますので、油断せずに管理することが必要です。また、高血圧は腎症を悪化させますので血圧管理も大切です。すぐに生命に危険が及ぶものではありませんが、糖尿病性腎症が原因で慢性腎不全になると予後が悪くなります。主治医の指導をよく守って糖尿病の管理を続けてください。